

千年の森便り No.112

2013.1.24

ちば千年の森をつくる会

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

1月20日（日）晴

参加は新井（孝）新井（通）伊藤・久我夫妻・坂本（文）・高橋夫妻・福島・真鍋・宓（ミ）村野・山口、更に新入会の石松彰・成子夫妻が加わり15名。朝一番祠山に全員集合して今年一年の安全祈願の後、グループに分かれて巨木林成長量調査、ホダ場見廻り補修、野鳥調査、ホテイ岬整備、野鳥の巣箱掛けなどに精を出し、身も心も温まる一日でした。千年広場の梢は上空の青い空に輝いていました。（真鍋記）



残雪踏んで参集15人



仕事始めは祠山に全員集合して安全祈願



巨木林の成長量調査



梢は千年広場の上空に輝き

○巨木林成長量調査

真鍋さん、ミさんと福島の3人で、巨木林の成長調査を行いました。測定したのは、区画内の高木と亜高木の胸高位置の幹周り長です。2008年12月に調査を開始してから、今回は4年目の調査になります。幹周り長は、以前にも報告したとおり、細い木ではほとんど成長せず、太い木ほどよく成長していました。成長のよいものは、幹周り長で2～3cm（年輪幅にして3～4mm）の成長が認められました。（福島記）

○ホテイ岬の整備

ホテイ岬の整備は7～8年前に着手した直後に、真竹やホテイ竹のシカ食害が目立つようになり、中途半端なままになっているため景観的にはぱっとしない。しかし、巨木林より一段低く環境条件が微妙に異なるためか、ラン類などの希少種も多く、キノコ関係では貴重なフィールドである。

そういった点も考慮して急激に環境が変化しない整備が求められるため、まずは豊英湖に流れ込む可能性のある枯損木・竹の整理から取りかかった。先月、今月と寒い中での一汗の作業で見違えるようになった。今後とも、希少種などの消長に注目しながら、少しずつ整備を進めていくことになる。皆で具体的な意見、提案を持ち寄って、方向性を定めていきたい。（伊藤記）



散乱する枯木と竹を拾い集め積上げ



水の中で奮闘する新井さん

○シイタケホダ場巡回とネット補修

ホダ場の巡回-ネット補修を5人で実施しました。09、10、11年ホダ木のネットに、4-5ヶ所穴が開いていました。大きさは直径10cm位で、シイタケ食へに来たシカに開けられたと思われます。応急処置で繕いましたが、いずれホダ場の食害保護の抜本策が必要です。シイタケの収穫は僅かでした。（久我記）



シカの穴を繕うヒト

○野鳥の巣箱掛け

（フクロウの巣）今年最初の活動日に、昨年製作の野鳥の巣箱掛けをしました。先ずシジュウカラ、セキレイ、オシドリ用を掛け、最後が大物の「フクロウ用」です。メンバーは村野、山口、久我、坂本（文）、高橋（忠）、福島の名。対象の木は三つの叉があるスダジイの大木、高さ地上約5㍍にある2番目の叉部です。何せ重くて大きな巣箱、手で持ち上げることは出来ません。皆で知恵と力を出し合い、見事に掛けました。

先ず、細紐に石を結び、最上部の叉めがけて投げ、3度の挑戦でやっと通し、その紐の先に太いロープを結美引き上げ、その先に巣箱を結びつけ引き上げました。しかし位置や向きが悪くやり直し。2度目はロープの結びや引き上げ方向を逆にし反対側から再挑戦。うまく上がったものの、予定の高さ・位置・向きにならず調整が必要。ここで木登り名人・坂本さんの出番。途中まで短い脚立梯子で登り、そこからは腕力。身動き出来ないほど狭い「木の叉」部に入り込み、更に脚立梯子を折り込んで持ち込み、脚が抜けなくなったり悪戦苦闘しながら、やっとの思いでの位置調整。「位置決め組」は下から「右！左！上！下！」と大声で叫び続け、「ヨイトマケ組」はエンヤコーラとロープを引いて巣箱を引き上げ、「木登り組」は転落の危険と背中合わせで、必死で取り付け作業です。こうして40分、あの重い大きな巣箱が見事にスダジイ大木の2番目の叉部（高さ5㍍30㍎）に収まり拍手喝采。野鳥の坂本さんの活躍が光りました。

穏かな午後のひと時、皆で力を合わせて「大人の楽しい巣箱掛け遊び」でした。さて、フクロウは来てくれるでしょうか？（高橋忠友記）



ロープで重い巣箱を釣り上げる



転落警戒しながら据付け



巣穴の高さは5.3m



オシドリの巣箱は湖に向け

（オシドリの巣）オシドリは警戒心強くあまり姿を見せないが、どんぐりの豊富な千年の森での繁殖を願い、吊り橋近くの斜面の高木に湖面から正面が見えるよう巣箱を設置しました。（村野記）

○（おまけ）植物観察 北岸のコセリバオウレンはまだ開花していませんでした。（福島記）北岸のスハマソウは2株芽を出していますが、開花はまだでした。（新井通子記）

○1月の野鳥観察記録

カワウ 4 カルガモ 3 *キンクロハジロ 5 (初) ミサゴ 1 トビ 3+声 コゲラ 1+声 ヒヨドリ 1+声
シロハラ 1 エナガ 10+声 ヤマガラ 3+声 シジュウカラ 声 メジロ 1+声 カケス 声 ハシボソガラス 声
ハシブトガラス 声 以上 15 種 番外 コブハクチョウ 1 累計 48 種



キンクロハジロ 2013/01/20 福島

*初記録のキンクロハジロ(写真左)はカモの仲間で潜水して貝や甲殻類を取ります。山間部のダム湖で見られるとは思っていませんでした。

12月19日センサーカメラの電池交換で入島した時、初記録のヒガラを発見し写真が撮れましたので(写真左)12月の野鳥記録に追加します。(坂本文雄記)



ヒガラ 2012/12/19 坂本(文)

「千年の森」初印象

以前から「千年の森」活動に参加させていただきたく、今回やっと入会する事ができました。君津市泉在住の石松彰・成子です。よろしくお願いします。

今日の作業は 午前中、きのこのネットの補修をしながら 森を一周しました。午後からは森林整備をしました。結構ハードでしたが、皆さんとても楽しそうに活動していました。この森は 冬場だったこともあり とても明るかったです。これから様々な種類の動植物に出会える事を期待しています。

余談ですが、帰りのつり橋は、あまりの揺れに船酔い状態で怖かったです。(石松成子記)

お知らせ

○会員の入会；石松彰(あきら)・成子(しげこ)夫妻が1月20日入会されました。お住まいは君津市 泉です。よろしくお願いします。

○2月の定例活動日； 2月17日(日)9時30分県民の森駐車場集合。照度調査、コナラ伐採(シイタケほだ木用)、玉切り・造材、植物調査、野鳥調査などを行います。作業のできる服装、ヘルメットなどを持参。

○里山センター関連事業紹介・・・ぜひご参加を

1 地域で取り組む「里山活動」地域懇談会・市原

今、市原の里山にあなたの力が必要だ!! 地域(ブロック)での里山活動交流・拡大イベント

期日 3月3日(日) 12:30~17:00 会場 市原市市民会館

主催 NPO法人 ちば里山センター 共催 市原市

チラシ表 <http://chiba-satoyama.net/wp/wp-content/uploads/2013/01/omote.pdf>

チラシ裏 <http://chiba-satoyama.net/wp/wp-content/uploads/2013/01/ura.pdf>

2 里山体験(里山を歩く) 鹿野山古道と関八州・豆州・駿州などのパノラマ展望を楽しむ

明治時代から続く学校林(部分林)を地域の人々で整備し鹿野山古道として散策に公開している活動を体験。

眼前に広がる東京湾! アクアラインもスカイツリーも手に取るように

期日 2月23日(土) 9:30~13:00

主催 NPO法人 ちば森林コンサーブ NPO法人 ちば里山センター

詳しくは、いずれも

<http://chiba-satoyama.net/> 又は